

堀越喜与志



表彰理由：

堀越喜与志氏は、故谷資信教授指導のもと、昭和32年に大学院修士課程を修了され、修士論文「筋違の配置とその効果に関する研究」を纏められた。

その後、都立小石川工業高校で30年以上にわたって若手の教育指導をされ、数多くの優秀な技術者を世に送り出している。その間、教材を多く執筆され、わかりやすい教科書として高い評価を受けている。またその傍ら文部科学省認定通信教育の評議員を現在に至るまで勤められ、1級建築士、2級建築士の養成にもあたられた。

木造の橋にも造詣が深く、猿橋、錦帯橋や中国の木造橋についても調査研究をされ、その成果は工業高校等での教育に反映されている。また、日本建築学会工高部会委員を35年もの間勤められ、工業高校教育における建築会のリーダーとしての役割も担われた。

以上のように、永年若手教育にあたられ、工業高校教育界および建築学会にて活躍され、建築技術者を育て、その活躍は稲門建築会にとって大変意義あることである。

◎経歴：

1927年 新潟県生まれ

1955年 早稲田大学第二理工学部建築学科卒業

1957年 早稲田大学大学院修士課程修了

1958年～1991年 東京都立小石川工業高校建築科教諭

1981年～2000年 日本大学芸術学部建築デザイン講師

1991年～1998年 東京製図専門学校講師

1996年～2002年 東京建築カレッジ講師

1953年～1988年 日本建築学会建築教育委員会
工高部会委員

1987年～現在 日本建築技術者指導センター
(文部科学省認定通信教育) 評議員

1974年～1976年 稲門建築会 評議員



①②③④⑤工業高校での錦帯橋1/10模型制作指導
⑥錦帯橋第2期工事終了段階 ⑦中国・程陽永濟橋